令和6年度 刀根山支援学校運営協議会 第2回会議 記録

日 時：令和6年11月19日（火） 15：00～16：30

場 所：本校：会議室

出席者：山田 亨、齊藤 利雄、竹永 英樹、平賀 健太郎（学校運営協議委員）

永田 美穂子、高原 浩徳、笠岡 一行、洲本 昌悟、三澤 誠一、船木 雄太郎、
桑名 智寛（事務局員）

池上 真由、松井 康子、中林 啓、橘岡 正樹、中尾 仁美

欠席者：中村 昌子、宗戸 和幸（学校運営協議委員）

1 学校長挨拶

2 協議

(1) 令和6年度 学校経営計画の進捗状況について

提言① 「分教室のきまり」づくりについて、児童生徒及び保護者の意見を伺いながら、「こんな分教室になったらいいな」という観点で作れたらよい。

提言② 学校教育自己診断の項目を精査していく。

提言③ 部署間交流の活性化と取組みの発信。

(2) 各部署の教育活動の状況について

【本校訪問】

- ・今年度、筋疾患相談会の開催形式を変更。参加者からは概ね好評。
- ・他部署とのロボットプログラムでの交流や植物栽培交流など、参加児童生徒の反応も良かった。
- ・一人ひとりの児童生徒のためのロードマップを作成中。

【精神】

- ・学習発表会では、発表会に向けて子どもたちが主体的に準備や練習に取り組むことができていた。その姿を多くの保護者や病院・教育関係者に観ていただくことができた。
- ・キャリア教育の一環として、朝顔の育成などを通じてオンライン交流を実施。
- ・地域支援の一環として、児童生徒の学校での様子を見ていただく機会を設定。地域校へのスムーズな移行をサポートしている。

【阪大】

- ・部署内研修として、子どものつながりを作る研修会を実施。
- ・学習発表会では、小学生はそれぞれの地域の良さを発表。中学生はコマ撮りアニメを作成。

【滝井】

- ・コロナ以降、在籍数と退院前のケー会議が増加。地域校に対して、ドクターと分教室から、体重管理の方法や登校支援等を助言。
- ・滝井セミナーについて、参加者のニーズを反映していく。

【枚方】

- ・クリーンルームでの授業形態について、タブレットを使用したオンラインで計画中。
- ・学校行事については、地域校から運動会の様子をリアルタイムで配信いただき、分教室から観覧。
- ・関西医科大学リハビリテーション学部のOTさんによる巡回相談を月1回実施いただいた助言を授業に反映。
- ・週1回実施の多職種カンファレンスに参加。児童生徒の治療方針等の情報を共有し、病棟と連携しながら授業実施。

3 連絡・報告

(1) 令和6年度学校教育自己診断の実施について(資料3)

(2) 令和6年度教科書採択について(資料4)

4 その他

第3回 令和7年2月18日(火) 15:00～